

公益社団法人日本コンクリート工学会
コンクリート工学論文集原稿執筆要領

1. 原稿の執筆にあたっては、「コンクリート工学論文集」投稿要領の1～3.の各項目に注目してください。
2. 論文は10 ページ以内とし、さらに4 ページまでの超過が認められます。
3. 原稿は、テンプレートを使用の上、作成してください。
4. テンプレートに基づき、(1)題目・著者名、(2)概要（和文、300 字程度）及びキーワード（和文、4～7 語程度）、(3)本文〔①序論（研究の背景と目的）、②本論（研究方法、結果、考察）、③結論〕、(4)参考文献、(5)英文題目、(6)ローマ字綴り著者名、(7)Synopsis（100Words 程度）及び Keywords の順で記入してください。
5. 原稿ページの書式設定は25 字×49 行×2 段組、余白は上下左右とも22mm です。テンプレートの書式設定は変更しないでください。論文中では別途指定のない限り和文フォントにはMS 明朝体（またはこれに類似したもの）、英文フォントにはTimes New Roman（またはこれに類似したもの）、いずれも文字サイズは9 ポイントを用いてください。使用する句読点は「，」と「。」とし、いずれも全角を使用してください。
6. 図・表・写真は、上下左右の余白範囲にはみ出さないように貼付してください。
7. 題目
 - (1) 題目は文字サイズを20 ポイントとし、上枠から3 行空け、左右中央に位置するように配置してください。
 - (2) 明瞭・簡潔で内容を的確に表すものとしてください。
 - (3) 一連の研究であることを示す（その1）、（その2）などは認められません。連続して数編投稿する予定でも、各編がそれぞれ完結したものとしてください。
8. 著者名
 - (1) 著者は、原則として4 名以内としてください。
 - (2) 著者名は、題目から行間が2 行空きとなるようにして、左右中央に配置し、著者名の右肩に*印（脚注を示す、著者が複数の場合は*と番号を数字で示す）を付けてください。なお、著者名は、人数により以下のとおりに記してください。
 - 1) 一人の場合：○ ○ ○ ○*¹
 - 2) 二人の場合：○○ ○○*¹・○○ ○*²
 - 3) 三人の場合：○○ ○○*¹・○○ ○*²・○○○○○*³
 - 4) 四人の場合：○○○○○*¹・○○ ○*²・○○○○○*³・○○○○○*⁴
 - (3) 脚注に示す著者の所属は、文字サイズを7 ポイントとし、第1 ページ目の左段下に本文から1 行空けてラインを引き、その下に以下のように*1 などの識別番号と共に、勤務先、役職名、学部学科名（部課名）、学位、会員種別（非会員は記載なし）、住所を、職種に応じた以下の記載例の順序で記してください。その際、枠からはみ出さないよう注意してください。

[例] *1 ○○大学教授 ○○部○○学科 工博（正会員）〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-7

*2 ○○大学大学院院生 工学研究科○○工学専攻（学生会員）〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-7

*3 ○○（株）技術研究所主任研究員 修(工)（正会員）〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-7

9. 概要・キーワード

著者名の次に 300 字程度の概要と 4～7 語程度のキーワードを必ずつけてください。なお、概要、キーワードは文字サイズを 8 ポイントとし、左右の枠線から 3 字空けた 1 段組とし、左右中央に配置してください。

- 1) 著者名と概要との間には空白行を 1 行設けてください。
- 2) キーワードは概要の下に続けて記してください。キーワードの下は空白行を 2 行設けてください。

10. 本文

- (1) 章の見出しは文字サイズを 10 ポイントとし、キーワードの下に空白行を 2 行設けた上で、左端から 1 字空きで始めてください。字体は **MS ゴシック体**（またはこれに類似したもの）を使用してください。
- (2) 節の小見出しの文字サイズは本文と同じく 9 ポイントとし、左端から 1 字空きで、字体は **MS ゴシック体**を使用してください。
- (3) 項の見出しの文字サイズは 9 ポイントとし、フォントは本文と同一とし、左端から 1 字空きで、（ ）は全角文字を使用してください。

(4) 箇条書き

- 1) 改行する場合は 1 字空けではじめ、
 - 1) ……………
 - 2) ……………
 - 3) …………… としてください。
- 2) 文中に組み込む場合は
……, ①…………, ②…………, ③…………, …… としてください

(5) 数式

- 1) 極力簡単にまとめてください。
- 2) 式は 3 字空けてから書き出してください。
- 3) 式番号は(1), (2), (3)とし、式の最後に右寄せにして記してください。
- 4) 数式中の変数は斜体文字を用いてください。
- 5) 文中での呼称は式(1), 式(2), 式(3)・・・ としてください。

(6) 記号

- 1) できるだけ一般的なものを用い、最初に記した箇所でその定義を明らかにしてください。
- 2) 判読上まぎらわしいもの（大文字・小文字が同形のものや異字間で形が似通っているものなど）は、その区別を明瞭にしてください。特に、下付又は上付にすべきものは、はっきりと示してください。

(7) 単位

原則として SI 単位系に統一してください。ただし、引用文献などで SI 単位が使用されていない場合に限り、例外とします。

11. 図・表・写真

- (1) いずれも単独で意味が十分通じるようにまとめ、それぞれできるかぎり簡潔なキャプション（説明文）を付し、和文か英文に統一してください。
- (2) 図・表・写真の挿入は、最小限に留めてください。

(3) 図・表は、本文の引用箇所に近い所に配置してください。ページ又は段の幅一杯に配置し、これらの左右に文章を記載しないでください。

また、図・表中の文字の文字サイズは7ポイント以上を用いてください。

(4) 図・表・写真は、本文から1行空けた後に貼付してください。図・写真の番号・タイトルは、図・写真（位置）の下に、表の番号・タイトルは上に記入し、文字サイズは8ポイント、和文フォントは**MS ゴシック体**、英文のフォントは**Arial**（またはこれに類似したもの）を用いてください。

(5) 呼称はそれぞれ以下のとおりとし、章ごとに番号を分けずに通し番号としてください。

和文の場合→ 図-1, 表-1, 写真-1

英文の場合→ Fig.1, Table 1, Photo 1

(6) 執筆者以外の個人及び団体（JCIを含む）に著作権のある図・表・写真を使用する場合は、電子公開による論文及び討議への転載許諾について、事前に著作権者（原著者又は発行所等）の了解を執筆者の責任において得ておいてください。また、その出典を参考文献に明記するとともに、該当の図・表・写真のキャプションの最後に文献番号を付記してください。

12. 参考文献

(1) 参考文献は文字サイズを7ポイント、行間は13ポイントとしてください。

(2) 引用又は参考とした文献名は、使用順に番号を振り、結論のあとに参考文献としてまとめて掲げてください。なお、参考文献の末尾は、左右の段をできるだけ揃えるように配置してください。

(3) 文献番号は、本文中又は引用した図・表・写真のキャプションの最後に上付数字で1), 2), 3),のように明記してください。

(4) 記載方法

1) 論文等の場合

著者名（姓名）：題名，誌名，Vol., No., 掲載ページ，発行年月の順とします。

2) 単行本の場合

著（編）者名（姓名）：書名，発行所名，掲載ページ，発行年月の順とします。

(5) 記載例

[例] 1) Davis, J. M.: Simplified Diaphragm Analysis, J. of Structural Div., ASCE, Vol.103, pp.2093-2103, Nov., 1977

2) Shanley, F.R.: Basic Structures, John Wiley & Sons Inc., pp.291-304, 1947

3) 春野秋雄，横田英治：無塩化・無アルカリ型防凍結性混和剤による初期凍害の防止効果，コンクリート工学論文集，Vol.7, No.1, pp.113-122, 1996.1

著者名の表記については次のようにしてください（英文の場合）。

著者が1人の場合

Diamond, S.（姓が先でカンマの後に名前とする）

著者が2人の場合

Diamond, S. and Berney, R. S.

著者が3人の場合

Diamond, S., Berney, R. S. and Struble, L. J.

著者が4人以上の場合

Diamond, S. et al.（1人目だけ名をあげ，その他はet al.とする）

13. 英文概要 (Synopsis)

参考文献の1行下に0.5ポイントの罫線を引き、そこから1行空けて、題目・著者名・掲載巻号・英文概要・英文キーワードを記してください。なお、この部分は1段組で配置してください。

- (1) 英文題目は、文字サイズ10ポイントで左右中央に配置してください。
- (2) 著者名は、文字サイズ9ポイントで斜体の文字で記し、左右中央に配置してください。
- (3) 掲載巻号は、文字サイズ8ポイントで左右中央に配置してください。なお、これは掲載号決定後、すなわち印刷用原稿提出時に記入してください。
- (4) 英文概要本文は文字サイズ9ポイント、左右空きマスなしで記してください。
- (5) 英文キーワードは英文概要の次の行から文字サイズ9ポイント、左右空きマスなしで記してください。
- (6) 掲載決定後、英文校閲のため、英文概要の和訳を提出していただきます。ただし、論文中で和文と英文の概要が完全に一致している場合は不要です。

14. PDF ファイルの作成

- (1) 本学会へ提出する原稿は、Adobe Acrobat (アドビ社) を使用し、全てのフォントの埋め込みをして作成したPDFファイルとしてください。
- (2) フォントの埋め込みがされていないことにより、閲覧環境による不具合(文字化け・図表の崩れ等)が生じた場合は著者の責任としますので、注意してください。
- (3) PDF ファイルの容量は、5.0MB 以下となるように作成してください。

15. その他

- (1) 投稿原稿が本学会に到着した日以降で最初で開催される委員会会議において、当該原稿がコンクリート工学に関するものであるか、「コンクリート工学論文集」投稿要領及びコンクリート工学論文集原稿執筆要領に準拠した原稿であるか、並びに論文の場合は明らかな既発表論文でないかを確認し、受理の可否を決定します。受理された投稿原稿の原稿受理年月日は、本学会に到着した日とします。
- (2) 原稿提出後の修正及び採択後の校正段階での大幅な書き足し、書き改めは認められませんので、事前に十分推敲し、「コンクリート工学論文集」投稿要領及びコンクリート工学論文集原稿執筆要領の記載事項を再度確認のうえ提出してください。